

解説資料

大志連区 地域づくり協議会 とは

平成28年12月14日

大志公民館3階大会議室

準備委員会会長 木村富雄

大志連区地域づくり協議会 事務室

大志公民館2階 料理実習室内

138daishi.chiiki@gmail.com

〒491-0851 一宮市大江3-9-14

090-1832-9029(木村)

<http://blog.goo.ne.jp/a1384chidukyo>

大志連区地域づくり協議会 会則

(目的) 第2条 協議会は、地域住民による自主的な生活・文化・スポーツ・学習・福祉の諸活動間の連携と課題解決を促して、豊かで住みやすく、安全で誰もが安心して暮らせ、住み続けたいと思える地域にすることを目的とする。

目次

- | | |
|------------------------------|--------|
| 1) 地域づくり協議会とは | P.3 |
| 2) 大志連区地域づくり協議会 立上げ日程 | P.4 |
| 3) 設立に向けて注意したこと | P.5 |
| 4) よくある質問Qと答えA | P.6 |
| 5) 自己紹介 | P.7 |
| 6) 平成29年度 協議会が始まると・・・1/8～8/8 | P.8～15 |

協議会に参加するのは誰？ 総会・役員会・部会が開かれます

役員、部会員は誰？ 何を議論するの？ 組織図は？ 留意事項は？

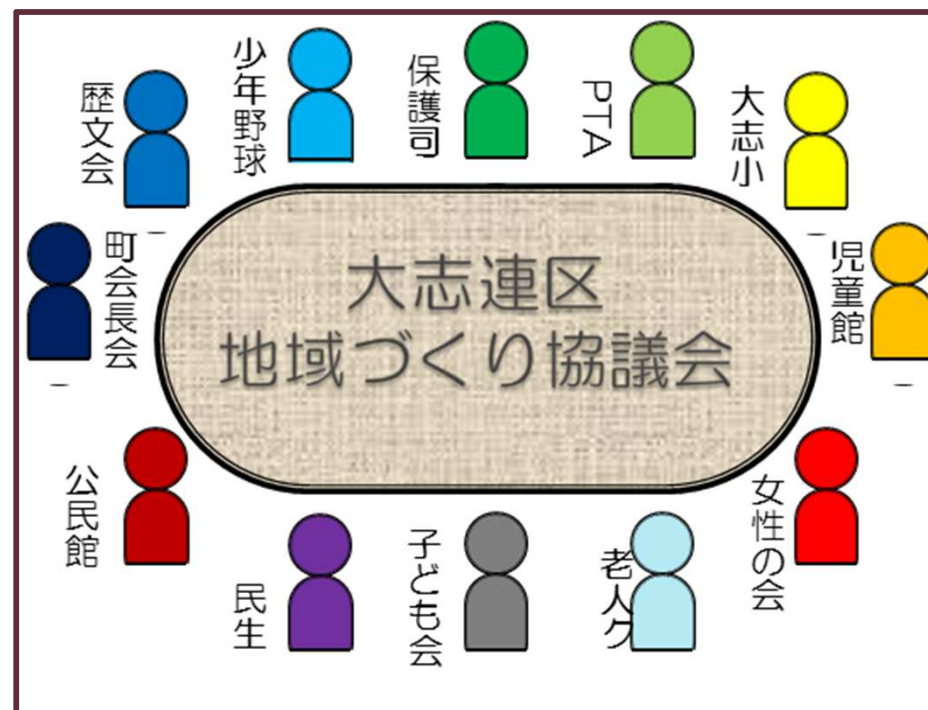
1) 地域づくり協議会とは

「地域づくり協議会」とは、これからの地域社会のあり方を見直そうと、一宮市が平成20年から導入を進めているもので、現在ある連区制をもとに新しい地域社会へと発展させる仕組み、制度です。

大志連区では

- 平成27年12月準備会発足
 - 平成28年6月準備委員会発足
- を経て
- 平成28年12月協議会が立上りました。

地域づくり協議会では
大志連区の全団体が一つのテーブルにつき、話し合いを進め、決めて行きます。



2) 大志連区地域づくり協議会 立上げ 日程

- | | | |
|-------|----------|--------------------------|
| ① | 平成23年10月 | 町会長、連区各種団体役員への説明会（地づ協とは） |
| (4年) | ↓ | |
| | 平成27年10月 | 町会長、連区各種団体役員への説明会（地づ協とは） |
| ② | 12月 | 準備会発足、発足報告会 |
| (6ヶ月) | | 準備会では：懇談会、勉強会、他連区調査 |
| ③ | 平成28年 6月 | 準備委員会発足 |
| | 8月 | 準備委員会発足 説明会 |
| | | 6回の準備委員会で |
| | | 会則、組織、H29事業計画・予算の案作成 |
| (7ヶ月) | 12月 | 設立総会で案の承認（本日）→市へ設置申請書 提出 |
| ④ | 12月 | 協議会発足（全23連区の22番目） |
| | 平成29年 4月 | 協議会本格始動 |

3) 設立に向けて留意したこと

①地域づくりと従来団体との関係の明確化

会則の（目的）第2条、（活動）第3条関連

事業は従来通り各団体（町会長会、公民館、民生等）が実施し
地域づくりはこれを支援する（連携、課題解決を促す）

②子育て層の役員への参加

③事務局を設け地域づくりの運営円滑化

事務室設置（拠点、たまり場）

④情報の見える化、共有化推進

便りの月刊化、ブログによる情報発信

⇒ 広報部員募集中

（設立後には事業計画、決算報告内容の公開向上）

⑤eメールによる連絡の効率化（早く、正確、安く）

メールアドレスの登録をお願いします

4) よくある質問Qと答えA

Q1：何が一番期待できるの？

A1：連区の全団体が一つのテーブルに着き、話し合います。1団体では難しい事業（例えば連区の防災関連事業*）が出来るようになります。

また、話し合いの気運が大志連区で生まれ、地域を変えて行く力になることが期待できます。

Q3：他の連区の状況は？

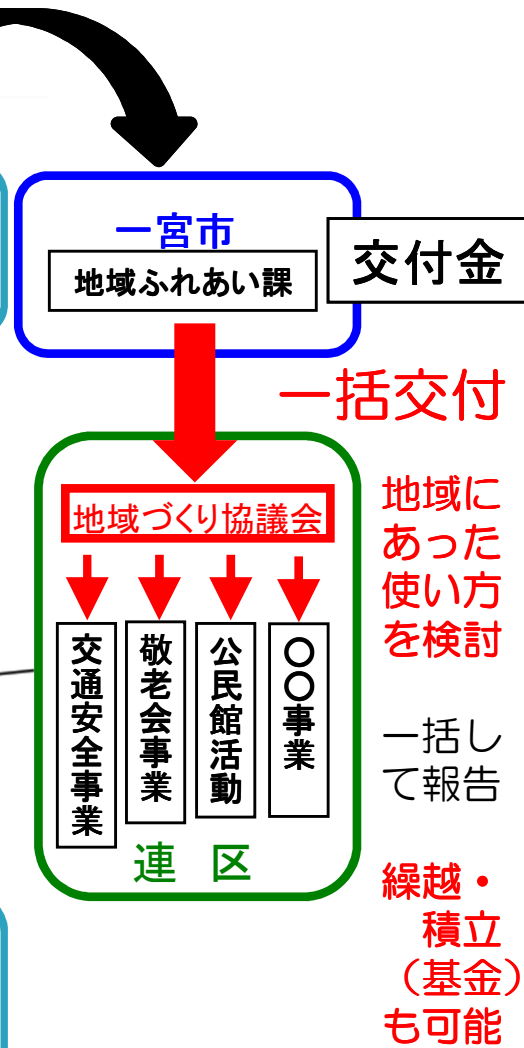
A3：一宮市全23連区のうち既に21連区で立ち上っています。

Q2：何が一番変わるの？

A2：市からの補助金*が、一括して地域づくり協議会に交付されます。協議会で話し合い補助金の使い方を決められます。翌年に繰越する事もできます。地域の事（お金の使い方）は地域で決められます。
*：敬老会事業等の9事業への補助金等

Q4：立ち上げで一番難しいのは何？

A4：一つの話合いのテーブルについて、共通認識のもと、一緒に問題を解決して行こうという気運・姿勢作り（ベクトル合わせ）



5)自己紹介（木村）

①私はなぜ「地域づくり」に取り組むのか？

⇒「いい所（町、連区）に住んでいるね」 と思える

また 他人から言ってもらえる所にしたい

②大志は世の中の変化について行けてないのでは？

- ・地域づくり協議会の立上げは22番目（最後から2番目）
- ・自主防災組織はこれから →共助の精神をくみ上げる仕組みがない
- ・情報化への対応が遅れて恩恵を受けていない

③組織運営で頼りになるもの（信じているもの）

- ・数の力 : 良くしたいという気持ちを集めると・・・
- ・継続の力: 初心を忘れずに続けると・・・
- ・情報の力: 見える化の力。良い情報は人を動かす。ITは力。

いろいろな代表をしている経験から: 農業塾同窓会、農業クラブ、野菜朝市、アグリサロン、保育園野菜づくり支援、子ども会、歴文会、初もうでジョグ、小発展会

6)平成29年度 協議会が始まると・・・ 1/8

設立總會の結果で内容
が変更になる場合も有

(1) 協議会に参加するのは誰？

会則 第2章 組織 (組織)

第5条 協議会は、別表に定める団体の役員及びその経験者等
並びに個人の参加者で組織する。

2 協議会の趣旨に賛同する事業所、民間非営利活動組織、その他任意団体
は、役員会の承認を得て、前項の構成団体とする。また、個人で同様に
協議会の趣旨に賛同する者も、役員会の承認を得たうえで、協議会活動
に参加することができる。

連区的全団体が参加

社協大志支会、町会長会*、防犯協会、交通安全会、資源回収推進協議会、廃
棄物減量等推進委員会、自主防災会連絡協議会、学校外活動推進委員会、高齢
者の生きがいと健康づくり推進協議会、公民館*、民生児童委員協議会*、老
人クラブ連合会、女性の会、児童育成協議会、保護司会、大志小学校、大志小
PTA、児童館 18

大志小青空隊、大志少年野球、大志連区の歴史と文化を知る会、シモホンプロ
ジェクト（下本町活性化協議会）4 （順不同、*連区主要3団体、横線以下は任意団体）

6) 平成29年度 協議会が始まると・・・ 2/8

(2) 会議として、総会、役員会、部会が開かれます

→ すべての事業・行事に対して、基本情報の共有（いつ、何がある・・・）

と連携の確認（お願い事項等）、課題の確認と討議がなされます。

→ 初年度は、お互いを理解することに努め、次年度から改善を進める。

① 総会は （会長が召集）

役員、部会員が年1回、4月に集まります。

前年度事業決算承認、本年度事業計画審議承認、役員選任等を行います。

② 役員会は （会長が召集）

役員が2ヶ月に1回程度集まります。

部会からの提案を審議し総会に提案。連区の課題の確認・討議

③ 部会は （部会長が召集）

部会員が2ヶ月に1回程度集まります。

事業・行事内容の確認、連携確認（お願い事項等）、課題の確認・討議

6)平成29年度 協議会が始まると・・・ 3/8

(3) 役員、部会員は誰？

① 役員は？ 監事は？

【会 長】 児童育成:木村富雄(本町3)

【副会長】 町会長会:松井三夫(大江3) 公民館:伊藤孝司(大江1)

民生:岩田京子(大志2)

【理 事】 老人クラブ:酒井孝(本町3) 女性の会:横井秀子(本町4)

大志小PTA:山崎義則(公園通) 児童育成:森川正代(大江3)

自主防災会(町会長会):佐藤潤(本町4)

【部会長】 地域活性(公民館):伊藤孝司(大江1) 福祉(民生):大森信子(栄4)

広報(歴文会):石原亘(大志1)

【書 記】 歴文会:石原亘(大志1)

【会 計】 町会長会:小島末広(大志2)

【事務局長】 児童育成:木村富雄(本町3)

【監 事】 シモホンプロ：星野博（本町4） 町会長会：上松峰夫（大志1）

6)平成29年度 協議会が始まると・・・ 4/8

② 部会員は？

地域活性部会 26組織から22名が選任されました

【部会長】公民館:伊藤孝司(大江1) 【部員】町会長会関係(町会長会、交通安全会、防犯協会支部、資源回収推進協議会、自主防災会、高齢者の生きがいと健康づくり推進協議会、学校外活動推進委員会、廃棄物減量等推進委員会)5名:松井三夫(大江3)、伊藤朗(大志1)、小島末広(大志2)、佐藤潤(本町4)、土川真吾(本町2) 公民館(魅力部、家庭学習部、成人学習部、女性学習部、体育レクレーション部)5名:木全恵美子(大志1)、猪子裕史(本町4)、大野敏明(大江3)、大川恵美子(大江3)、森博史(本町4) 民生:佐藤潤(本町4) 老人クラブ:堀田和男(大江2) 女性の会:森綱子(明治通) 児童育成:栴島順子(大志1) 保護司会:玉腰崇之(本町4) 大志小学校:伊藤広恵(大志2) 大志小PTA:山崎義則(公園通) 児童館:伴礼子(大志1) 青空隊:安達勇(明治通) 少年野球:大橋秀武(大志1) 歴文会*1:高橋美佐喜(本町4) シモホンプロジェクト*2:星野博(本町4) (*1歴文会:大志連区の歴史と文化を知る会 *2シモホンプロジェクト:下本町活性化協議会)

6)平成29年度 協議会が始まると・・・ 5/8

② 部会員は？

福祉部会 7組織から7名が選任されました

【部会長】民生:大森信子(栄4) 【部員】町会長会関係(社協大志支会、町会長会):小島末広(大志2)、松井三夫(大江3) 老人クラブ:酒井孝(本町3) 女性の会:野田和子(大江2) 公民館:伊藤孝司(大江1) 児童育成:大西朋子(本町4)

広報部会 5名の候補が選出されました。総会での承認事項

【部会長】歴文会:石原亘(大志1) 【部員】公民館(地域活性部会長):伊藤孝司(大江1) 民生(福祉部会長):大森信子(栄4) 児童育成(事務局長):木村富雄(本町3) ボランティア:安達勲(明治通) ボランティア: (募集中)

事務局 4名の候補が選出されました。総会での承認事項

【局長】児童育成(会長候補):木村富雄(本町3) 【局員】公民館(地域活性部会):伊藤孝司(大江1) 民生(福祉部会):大森信子(栄4) 歴文会(広報部会):石原亘(大志1) ボランティア: (募集中)

6) 平成29年度 協議会が始まると・・・ 6/8

具体的には

平成29年度 大志連

(4) 何について話し合うの？

会則(案) (活動)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するために、**次の事業を実施する団体を支援する。**

- (1) 地域住民の福祉に寄与する事業
- (2) 交通安全、防犯に関する事業
- (3) 公民館活動及び生涯学習に関する事業
- (4) 児童及び青少年の健全育成に関する事業
- (5) 高齢者及び障害者福祉に関する事業
- (6) 環境に関する事業
- (7) 防災訓練及び防災に関する事業

従前
事業

2 協議会は、前条の目的を達成するために、**次の事業を実施することができる。**

- (1) 地域の特性を生かし、地域の課題を解決するために行う事業
- (2) 広報に関する事業
- (3) その他、地域の発展に寄与する事業

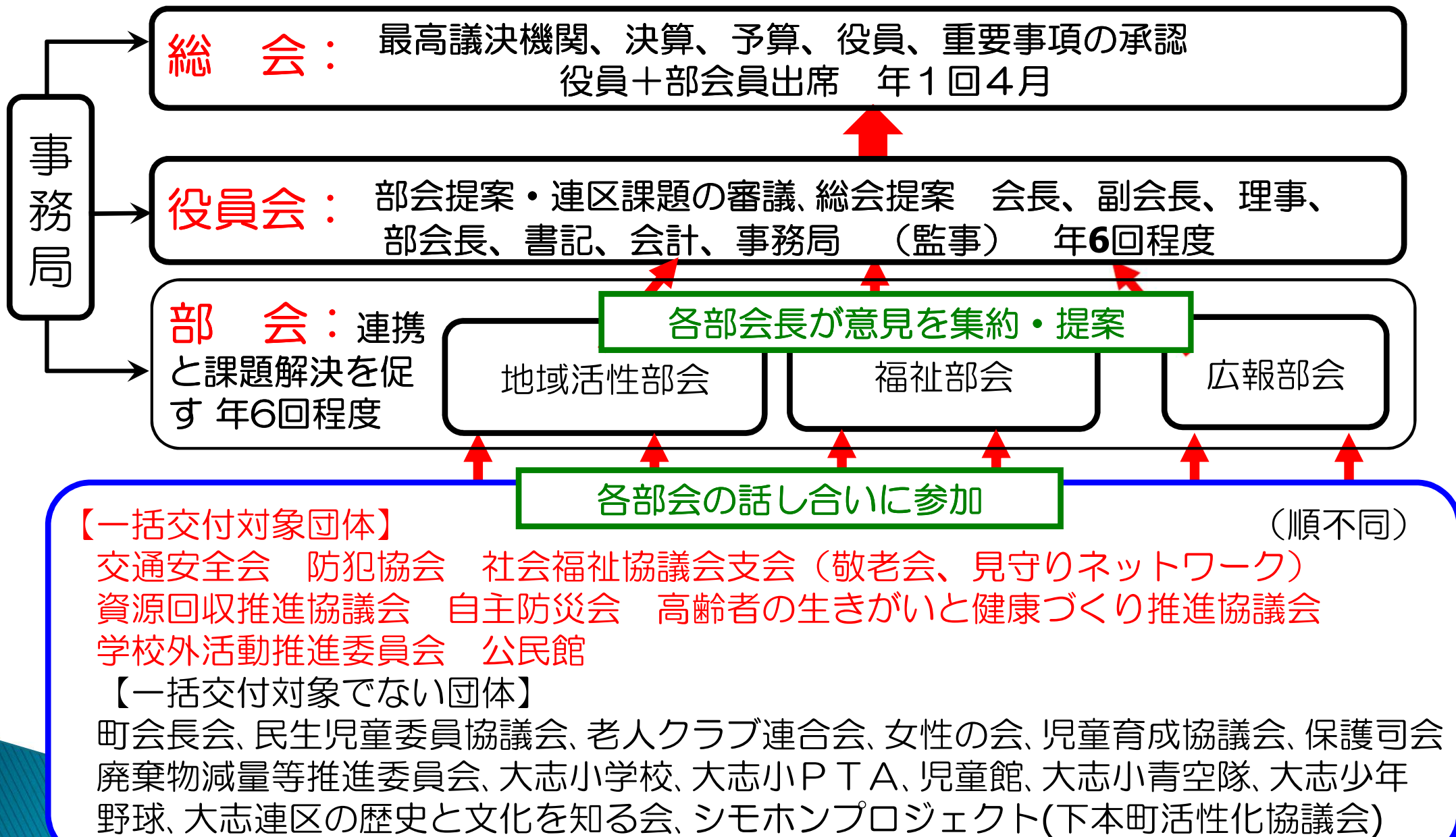
新たな
取組用

部会	事業名	担当課	地域づくり 交付金
地域 活性 (安全 安心・ 生涯 学習) 部会	防犯推進事業	地域ふれあい課	39,000
	交通安全推進事業	地域ふれあい課	182,000
	自主防災事業	危機管理室	100,000
	資源回収推進事業	清掃対策課	60,000
	学校外活動推進事業	青少年育成課	95,000
	公民館事業	生涯学習課	845,000
福祉 部会	高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	高年福祉課	675,000
	見守りネットワーク推進事業	社会福祉協議会	25,000
	敬老会事業	高年福祉課	845,000
小 計			2,866,000
広報	特別交付金	地域ふれあい課	156,000
会務費	特別交付金	地域ふれあい課	100,000
合 計			3,122,000

29年度は一括交付される9つの事業+特別交付金について話し合います。

6) 平成29年度 協議会が始まると・・・ 7/8

(5) 組織図は？



6) 平成29年度 協議会が始まると・・・ 8/8

(6) 留意事項は？

- 初年度(平成29年度)の事業は今まで通り(協議会のしくみに慣れる年)
→部会では、より多くの情報を発信して他の活動との連携による
利点(事業の魅力向上、参加者増、ムダの排除)を追求
- 会議が増えそうですが・・・
より良い連区を作るには、最初はある程度の時間は必要ですが
事務局を置き効率よく進むようにします
少ない時間で目的を達成するには、普段から関連情報が伝わっている
状態を作る→こまめな情報発信 →事務局による情報発信「だより
(全戸配布)」「ブログ」活用と電子メールによるこまめな連絡
- 連区をよりよくしようという気運の盛り上げ →対話を大切に！
→公民館2階の地域づくり協議会事務室に立ち寄って頂きやすく
する(たまり場)。各団体の取材を通して

